



地域元気宣言!

地域と人の元気創造

新プロジェクトで介護人材育成・確保と地域貢献

超高齢化と人口減少が進む日本。国民の5人に1人が75歳以上の後期高齢世代になる2025年を目前に控え、福祉・介護人材の定的な確保が喫緊の課題とされています。そんな中、いち早く独自の取り組みで人材育成と確保に努めているのが、医療法人心泉会が運営する上條記念病院、介護老人保健施設・ローズガーデンです。「地域の支えあってこそその施設」という信条のもと、地域貢献にも力を入れてきたローズガーデンが構築した「TCEサイクル」について、その目的と成果、今後の取り組みについて聞きました。



奨学金制度など新たなプロジェクトについて語る
上條記念病院の上條裕朗院長(左)と
ローズガーデンの赤羽美雪統括部長

TCEサイクル
T: Training(育成)
C: Contribution(貢献)
E: Ensure(確保)

介護に直接携わっていない職員も基本的な介護の知識と技能を身につけることで施設全体の質を向上させたいと考えているので、全職員の資格取得を目指として職員の資格取得は今後も支援していきます。

一般参加者7名のうち5名は修了後、当施設に就職が決まりました。講師は現役職員、さらに施設内で講座を開き実習を行つたことで、職場の雰囲気や職員の様子が伝わり、就業への安心感につながったと考えていました。残り2名は在宅介護に備えての受講希望者で、今後の介護負担軽減に貢献できたのではないかでしょうか。講座を通して、介護の「やりがい」や「魅力」を伝えることができたと感じています。

初任者研修に続き、5月には介護職員実務者研修講座も低料金で開講し11人が受講しました。介護人材の育成、そして地域に必要とされる魅力ある施設を目指して、今後もTCEサイクルの定着に向けた取り組みは強化していくたいと思います。

介護は日常生活を支える仕事です。とかく介護技術に注目されがちですが、大切なのは支援を得を目指す予定です。介護は日常生活を支える仕事です。とかく介護技術に注目されがちですが、大切なのは支援を得を必要とする人の気持ちに寄り添うこと、心の在り方であり、これが最も大切なのです。

国籍に関係なく質の高い介護は可能です。ただ、日本のマナーや生活習慣などを理解することも特に生活支援においては重要な受け入れが難しいのはこうしたことでも挙げられます。そこで心泉会は、順応性と向上心のある若い人に早い段階から日本で教育を受けてもらい、習慣や文化に慣れてもらうことを考えました。貧困の中で希望が持てないネパールの子供たちに、夢を持ててもらいたいという思いもあります。初めての試みですが、高齢化が進む日本の将来を救う一助になればと思っています。

新たな人材育成・確保と 地域貢献プロジェクト

開設20周年を迎えた平成 年以降、より地域に開かれた施設を目指し、誰もが集まる交流の場として「ローズカフェ」を開きました。ただこれまで、職員の人材確保・教育と地域貢献事業は一体的ではありませんでした。そこで本年度から、働く職員を育成、その知識や技能を地域に還元しつつ介護の仕事や施設の魅力を発信、それを人材確保につなげるという、「人材育成・地域貢献・人材確保」を一體的に行なう仕組みを構築しました。それが「T(人材育成・C(地域貢献)・E(人材確保)プロジェクト」です。

昨年4月に開講した無料の介護職員初任者研修も取り組みの一環です。講師は職員の中から実務経験5年以上の介護福祉士資格保持者で、介護主任・介護リーダーを務める者から選び育成。受講者は県内から広く募り、初年度は30～60代の男女16名が受講しました。講師を務めた職員からは「介護の基本を見直し、専門職としての自信につながった」という声が聞かれ、職員の指導力向上、スキルアップ、意識改革、学び直しとして効果的だつたと実感しています。今後は、より多くの職員を講師が務められるレベルまで育成し、質の高い職員の拡充を目指したいと思っています。

受講者16名のうち9名は心泉会の法人職員でした。当法人は、無料講座は収支を考えればマ

事業継続で介護の 魅力を広く発信

介護は「心」一活躍する外国人介護職員ー



ハンイリン
実務者研修を受けた潘維林さん(左)と、
人材育成担当の大野事務次長

ハンイリン
日本に憧れ、18年前に中国から来日した潘維林さん(49)は、長く製造業に従事していましたが会社の業績悪化などもあり将来を考えて退職。ハローワークの勧めで受講した介護職員初任者研修で、誰もが等しく生活できることが社会の本来あるべき姿であるとした「ノーマライゼーション」などの考え方を学んで感銘を受け、介護の仕事に就くことを決意。2年半前にローズガーデンに就職し、現在は認知症病棟で夜勤もこなす欠かせない人材となっています。

介護に携わる中で、言語によるコミュニケーション以上に、表情や身振りなど非言語的なコミュニケーションの持つ力を体感。気持ちが通じ相手に喜んでもらえることに自らの存在価値を見つけることができたといいます。日本語での読み書きも介護の仕事に就いてから急速に上達し周囲を驚かせています。「介護は傾聴が大事。自分は利用者さんの杖として皆さんを支えていきたい」という潘さん。このほど実施された実務者研修も受講し、介護福祉士資格取得に向け学び続けています。人材育成担当で研修講師も務めた大野友之事務次長は、「潘さんのように相手の気持ちに寄り添える人は利用者さんに信頼されます。今後はリーダーとして職員や留学生のお手本になってくれるでしょう」と期待を寄せています。



医療法人 心 泉 会

上條記念病院

松本市村井町西2-16-1 TEL.0263-57-3800(代)

介護老人保健施設 ローズガーデン 松本市中山7494-8 TEL.0263-57-8002
グループホーム ローズガーデン

社会福祉法人 ケアハウスローズガーデン／住宅型有料老人ホームローズガーデン
心 泉 会 短期入所生活介護施設（ショートステイ）ローズガーデン